



3月7日 JAののいち様からエアリーフローラをいただきました

ごあいさつ

令和7年3月7日

2月22日、全国椿サミットに出席するため、長崎県五島市に行ってきました。

全国椿サミットは、ツバキやサザンカを指定花木とする全国の自治体や愛好家が集い、相互の交流をとおしてツバキの魅力を再確認し、ツバキによる地域おこしを目的としています。平成3年に東京都大島町で第1回大会が開催されて以来、今年で35回目を迎えましたが、きっかけは第1回大会の前年、平成2年3月に野々市町が開催した「第1回つばきフォーラム」まで遡ります。

ツバキを愛する自治体同士で交流を図り、ツバキをとおして豊かな文化・伝統を継承し、まちづくりを推進していこうと、当時、野々市町がツバキを指定花木とする92の自治体へ呼びかけ、つばきフォーラムが実現しました。以降、全国椿サミットとして毎年開催される運びとなったことから、まさに野々市は「全国椿サミット発祥の地」と言ってもよいのかもしれません。

3月15日、16日には野々市のツバキの祭典「花と緑 ののいち椿まつり2025」が開催されます。今年は市民体育館と本州唯一の「国際優秀つばき園」である野々市中央公園をメイン会場として、さまざまな催しを予定しています。ツバキを市花木に選定してから50年、まちの発展とともに育まれた野々市のツバキ愛を、ぜひ、皆さんに感じていただきたいと思います。

寒波が続いた冬も終わりに近づき、いよいよ卒業・卒園の時期を迎えました。毎年、市内の保育園、こども園、そして幼稚園の卒園式では、卒園児一人一人にエアリーフローラが贈られています。石川県が開発したフリージアの新品種“エアリーフローラ”は、この時期に花が咲くことから「旅立ちを祝う花」とされ、花言葉は「希望」です。

贈られるエアリーフローラは、JAののいち様が栽培されたものを本市に寄贈いただいているもので、3月7日、目録の贈呈をいただきました。平成27年から続く長年のご厚意に、敬意と感謝を申し上げます。

今年も野々市の希望である子どもたちの旅立ちを祝い、健やかな成長を願うことができ、大変うれしく思います。

気温も少しずつ上がり市役所駐車場に積まれた雪山も随分と小さくなりました。春はもう目の前に来ているとはいえ、まだまだ寒い日も続きそうです。体調管理に気を付け新年度に向けてしっかりと準備してまいりたいと思います。